



【巻物の中での役割】

12-17は乱れ時代。18は救われた、新しい時代が来た！

【鍵語、対語】四分割のことは

主の声によるさばき

【主の声】

"神は仰せられた。「光、あれ。」すると光があった。"

創世記 1章3節

"そよ風の吹くころ、彼らは、神である主が園を歩き回られる音を聞いた。それで人とその妻は、神である主の御顔を避けて、園の木の間に身を隠した。"

創世記 3章8節

"・・・命令を、その『宥めの蓋』の上から、あかしの箱の上の二つのケルビムの間から、ことごとくあなたに語る。"

出エジプト記 25章22節

"モーセは、主と語るために会見の天幕に入ると、あかしの箱の上にある「宥めの蓋」の上から、すなわち二つのケルビムの間から、彼に語られる御声を聞いた。"

民数記 7章89節

"主の声は水の上にあり栄光の神は雷鳴をとどろかせる。主は大水の上におられる。" 詩篇 29篇3節

【新約の連想：引用、型、主の祈り・・・】

"すると雲の中から言う声がした。「これはわたしの選んだ子。彼の言うことを聞け。」" ルカの福音書 9章35節

"私は主の日に御霊に捕らえられ、私のうしろにラッパのような大きな声を聞いた。" "その声は大水のとどろきのようなであった。" ヨハネの黙示録 1章10、15節

"また、私は天からの声を聞いた。それは大水のとどろきのようなであり、激しい雷鳴のようでもあった。しかも、私が聞いたその声は、豎琴を弾く人たちが豎琴に合わせて歌う声のようであった。" ヨハネの黙示録 14章2節

"また私は、大群衆の声のような、大水のとどろきのような、激しい雷鳴のようなものがこう言うのを聞いた。「ハレルヤ。私たちの神である主、全能者が王となられた。"

ヨハネの黙示録 19章6節

黙示録全体は大音量のシンフォニー（多楽章構成の大規模な楽曲）、オラトリオ（「宗教的な題材による歌詞」をもつ、独唱、重唱、合唱、管弦楽のための総合的で大規模な音楽作品、演劇なし）

"蛇よ、まむしの子孫よ。・・・それは、義人アベルの血から、神殿と祭壇の間でおまえたちが殺した、バラキヤの子ザカリヤの血まで、地上で流される正しい人の血が、すべておまえたちに降りかかるようになるためだ。" "エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者よ。" マタイの福音書 23章33～35、37節